

伊那谷自治体会議の概要

長野県

■会議概要

○会議名称：リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議

○開催期日：平成26年9月17日

○開催場所：県飯田合同庁舎講堂・県庁知事室（専用回線を結んで開催）

○出席者

- ・阿部知事　・牧野飯田市長　・白鳥伊那市長　・杉本駒ヶ根市長
- ・伊藤下條村長　・平澤箕輪町長
- ・青木上伊那地方事務所長　・有賀下伊那地方事務所長
- ・飯ヶ浜伊那建設事務所長　・山岸飯田建設事務所長

○意見交換テーマ

「伊那谷の地域振興・広域交通の拠点となるリニア駅～駅周辺整備を広域観光、山岳高原観光、産業振興、交流人口の拡大等につなげるために～」

■駅周辺整備に関連した主な意見

①駅及び駅周辺の機能

【駅舎】

- ・特色ある景観の駅舎にできないか。
- ・長野県のランドマーク的な駅舎にできないか。
- ・第一印象の良い伊那谷の玄関口となるリニア駅にできないか。

【駅周辺の景観】

- ・景観面での伊那谷らしさが必要ではないか。
- ・駅周辺の長野県らしさを見せる景観（2つのアルプス、田園風景等）を活かすことができないか。

【駐車場】

- ・長時間駐車ができるパーク&ライド駐車場が必要ではないか。
- ・いつでも駐車できるよう、十分な駐車台数を確保する必要があるのではないか。

【観光】

- ・観光客に対応できるよう駅又は駅周辺での観光案内が必要ではないか。
- ・南の玄関口にふさわしい観光案内所の設置が必要ではないか。

②リニア駅とのアクセス

- ・リニア駅を起点とする公共交通が必要ではないか。
- ・JR飯田線とリニア駅との結節が必要ではないか。
- ・JR飯田線の利便性向上が必要ではないか。
- ・中央道、三遠南信自動車道、国道153号、国道151号等とリニア駅との良好なアクセスを確保するため、道路網整備が必要ではないか。
- ・中央自動車道の座光寺、駒ヶ岳、小黑川スマートインターチェンジにつながるアクセス道路の整備が必要ではないか。
- ・国道153号の利便性向上のため、渋滞解消や移動時間短縮が必要ではないか。

*伊那谷自治体会議では、上記のほか、リニア整備を契機とした地域づくりに関する意見交換がおこなわれた。